

2024年5月16日  
株式会社SVPジャパン

## SVPトレンド調査 「現代の消費者行動に関する調査分析」

～X世代編～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、「現代の消費者行動に関する調査分析」と題して、主要世代の消費者行動のトレンドを把握することを目的に、年2回の定点観測を実施。今回は、X世代を対象とした調査結果をレポートにまとめた。

### ■ 調査目的

景気や物価上昇など経済的要因のみならず、戦争やCOVID-19などに代表される社会的環境の変化は、消費者の支出に大きな影響を与えており、消費者行動を多様化、複雑化させている。

一般消費者および、主要世代へのアンケート調査を通じて、現代の消費者行動を明らかにする。

### ■ 調査概要

調査時期	2024年4月
調査方法	インターネット調査
調査対象	1965-1980年生まれの男女（44歳～59歳）
有効回答数	800名
調査機関	アイブリッジ株式会社

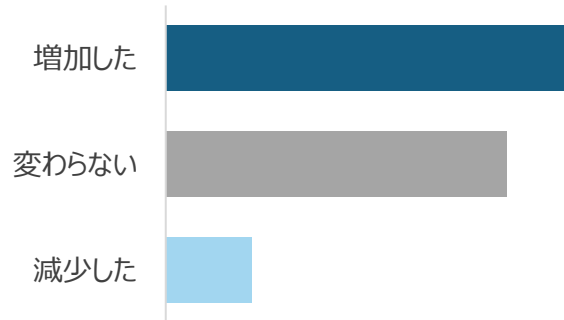
### ■ 本レポート構成

- ・調査概要
- ・調査結果サマリー
  - 消費支出の推移 ●低価格商品へのスイッチ状況 ●購買決定要因
  - 情報源と購買チャネル ●消費意向 ●考察
- ・アンケート調査結果（設問10問）

## ■ 過去1年間の消費支出の変化



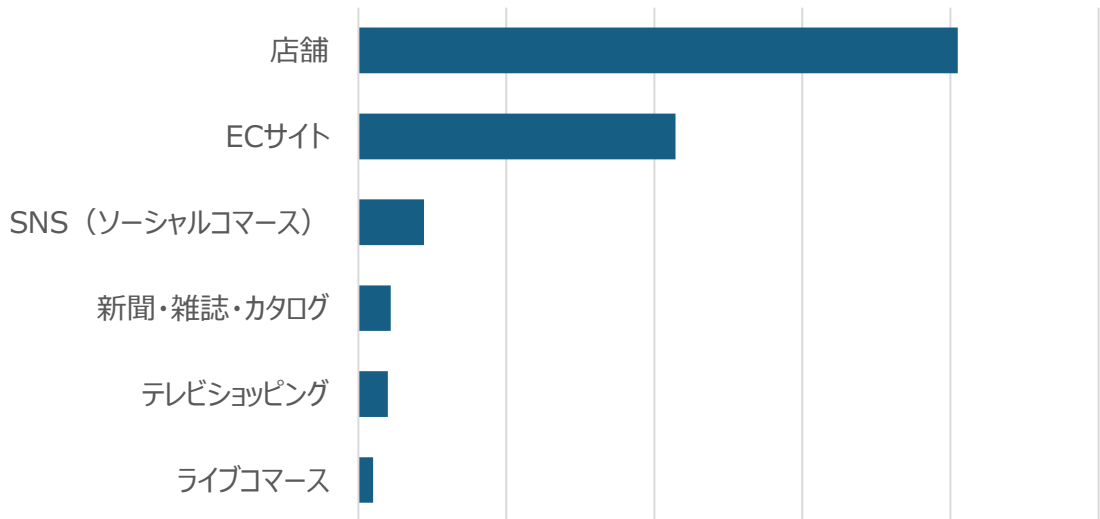
### 過去1年間の消費支出の変化



- ・過去1年間の消費支出は、増加層が最も多く、減少層を大幅に上回る結果に。  
全体的に、消費支出が増加傾向にあることがわかる。
- ・消費支出が増加したカテゴリーとして、食料品、嗜好品（飲料・お酒・お菓子など）、外食・フードデリバリーなど、食関連が上位を占めている。
- ・他方、減少した項目では、預貯金・投資が最も高くなっており、宝飾品と旅行が続く。

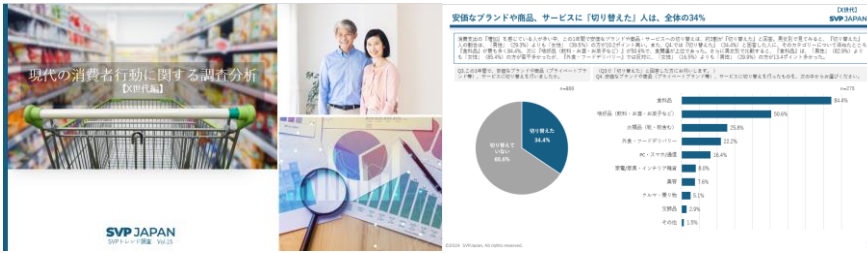
## ■ 購入場所は店頭がトップ、EC利用は第2位

Q.商品やサービスを購入する際に、よく使用する購入方法は何ですか。



- ・主な購入チャネルは、店頭がトップ、ECサイトが第2位。第3位がSNS（ソーシャルコマース）であったが、その数値は10%に満たない結果となった。
- ・以降、従来からの新聞・雑誌・カタログやテレビショッピングの順となっている。
- ・一方、商品やサービスを購入する際に、重視している情報源は、インターネットがトップという結果に。

詳しくは、本編レポートに記載。※下の画像をクリックして、会員専用サイトからご覧ください。



## ■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

※本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求



お問い合わせ



## SVPトレンド調査更新スケジュール・・・毎月第3木曜日の発刊を予定

### [会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン  
 代表取締役 : 橋本 雅  
 所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F  
 設立年月日 : 1974年7月1日  
 事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス  
 URL : <https://www.svpjapan.com/>

### [本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課  
 info@svpjapan.com

※本レポートの内容、画像等の一部もしくは全部の複製、無断での転載・複写をお断りいたします。